

電気安全九州委員会「第66回委員会」を開催しました

電気安全九州委員会は、令和6年5月14日に福岡市内で第66回委員会を開催しました。「令和5年度事業及び収支決算報告」を行うとともに、「令和6年度事業計画及び収支予算（案）」の2議案を上程・審議し、全て原案どおり承認されました。

冒頭で挨拶に立った福田委員長は、「電気事故の状況について、負傷事故が、令和5年度に9件発生し、令和に入ってから最も多くなっており、死亡事故も無くなっていない状況、災害の撲滅には、継続して、安全意識の浸透を図っていくことが重要」と指摘、「コロナ過で新たに取り入れたSNSなどの利用を継続しつつ、直接的・間接的な手段を活用し、電気安全に関する取り組みを伝えていくことを紹介した上で、コロナ過で仕事のやり方に選択肢がもたらされたが、『安全は全てに優先する』ということに変わりはない。委員の皆さまのご支援を頂き、電気保安の確保と電気事故の未然防止を図り、引き続き感電死亡事故ゼロを目指していきたい」との考えを示しました。



電気安全九州委員会
福田委員長

引き続き、委員会顧問代理の河田光昭九州産業保安監督部企画調整官が挨拶し、電気事故の防止と安全確保、知識普及等への尽力に対する感謝の意を示した上で、「電気事故発生状況は、前年度5件から10件へと増加し、直近5カ年で最多、決められた手順通りに作業していれば防げた事故と思われる、電気作業等には、今一度、基本に立ち返った準備や作業の徹底をお願いする」と指摘。「電気安全の確保のため、効率的かつ効果的に立ち入り検査を実施し、公共の安全確保や電気事故の未然防止に努めていく」と述べるとともに、「関係機関と十分に連携をはかりつつ、電気の保安を推進する皆様の協力をお願いする」との考えを示しました。



九州産業保安監督部
河田企画調整官

なお、令和6年度の具体的な事業については、

- (1) 電気安全に関する意識の啓発を図るため、「電気使用安全月間」を中心に電気関係業界と協力し、様々なツールを活用した情報発信を充実させ、積極的なPR活動を実施する。
- (2) 関係団体からの推薦をもとに審査・調査を行い、電気保安功労者を表彰する。
- (3) 電気事故防止及び、安全確保を図るとともに、電気技術者の技術向上を推進するため、各種講習会を開催または協賛する。

を柱として計画しています。



委員会の様子